

地下構造物

候補地選定を支援

アサノ大成
基礎エンジ

地下水の環境把握

アサノ大成基礎エンジに
アリング（東京都台東区、
平山光信社長）は、地下構
造物の建設候補地選定を支

援する調査手法を開発し
た。大深度地下に存在する
地下水の採取技術、微生物
の有無をモニタリングする
手法を活用。地下水の環境
を把握し、最適な建設地の
選定に役立てる。従来技術

に比べ作業効率の大幅アッ
プとコスト削減につなが
る。発注者に採用を提案す
る考えだ。

開発した調査手法は「地
下水採取」と「微生物分析」
の2技術を組み合わせ、実
現した。採水管と特殊な圧
送方法を使って地下水をく
み上げる。採取深度の地下
水をそのまま陸上に搬送で

地下トンネルや石油貯蔵
施設を建設する場合、地下
水が流れていない安定的な
環境が求められる。このた
め数百メートルの深さを掘削する
ボーリング調査によって、
長時間かけて地下水を採取
する必要があった。

きる。微生物分析技術を併
用し、微生物の存在から地
下水の流動性を把握する。
高品質なデータが取得で
き、作業時間の大幅短縮と
コスト削減にも期待され
る。